

令和 8 年度 学習の手引き

教科名	公民	年次	1学年	使用教材	改訂版 私たちの公共(清水書院)
科目名	公共	必修		最新公共資料集2026(第一学習社)	改訂版 私たちの公共ワークノート(清水書院)
		単位	2		

科目の目標

- 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向け、選択・判断の元となる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察した上での公正に判断する力、合意形成や社会参画などを意識し議論する力を養う。
- 3 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や理解を通し、人間としての在り方生き方や自国を愛し平和と繁栄を図ること、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さの自覚を深める。

学習方法

- 1 基礎・基本を重視します。ペアワークやグループワークを通し、思考力・判断力を養います。
- 2 日常から学習に前向きに取り組み、必要に応じて問題演習や家庭学習に取り組みましょう。
- 3 ノートを用意する必要はありません。授業では毎時間ワークシートを配布し、ファイリングをしてもらいます。
- 4 授業で分からないことがあれば、早めに教科担任に質問しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点	評価の観点の趣旨
① 知識・技能	選択や判断の手掛かりとなる概念や理論、現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
② 思考・判断・表現	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりするなど、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを表現できる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
定期考査	◎	○		年4回の定期考査を実施します
プリントの記述内容		◎	◎	ワークシートの記述内容により評価を行います
ペア/グループワーク		◎	◎	
提出物の内容			◎	

◎特に重視する点

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	1
C C C	1	

内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 公共

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解している。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につけている。 ・公共的な空間における基本的原理について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現できる。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解している。 ・政府により、資源配分や市場経済システムが円滑に機能し国民の福祉の向上に寄与していることを理解している。 ・国際法や、国際機関の意義や発達、役割について理解し、また、自由貿易と保護貿易の違い、経済格差についても理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。 	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例について、共に生きる社会を築くための課題について理解している。	「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例を通し、共に生きる社会を築くための課題について、その課題解決に向けて事実を基に考察し、論理立てて自分の考えを説明し、表現している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
4				
5				
6				
7				
8				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	公共の扉		ワークノート	
内容のまとめ	(公共の扉)		Chromebook	
単元の目標	知識・技能 ・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解する。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につける。 ・公共的な空間における基本的原理について理解する。	思考・判断・表現 ・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現する。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。	主体的に学習に取り組む態度 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方や基本原理等について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する。	
単元の学習内容	<p>第1章：青年期や社会の一員として生きていくための素地について学習する。</p> <p>第2章：幸福な社会とはどんな社会であるかについて学習する。</p> <p>第3章：公共的な空間における基本原理（民主主義、立憲主義、法の必要性）について学習する。</p>			
単元の評価規準	知識・技能 ・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解している。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につけている。 ・公共的な空間における基本的原理について理解している。	思考・判断・表現 ・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現できる。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方や基本原理等について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	ワークシートの記述内容		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容			○
配当時間	13時間			
補足等				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	私たちの社会と憲法		ワークノート	
内容のまとめ	(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		Chromebook	
				・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配などの，個人と社会の関係を成り立たせる基本原理について，しくみや意義を理解する。 ・日本国憲法の成り立ちや基本原理，日本国憲法の自由権，平等権，社会権，「新しい人権」について，基本的な知識を習得する。	・個人の尊重，民主主義，立憲主義といった基本原理について，どのようなものか，説明する。 ・日本国憲法の定める権利について，基本的な知識を説明する。 ・請願など，さまざまな政治参加の方法があることを学び，地域の課題などを見だし，解決・改善のための方策を考え，要望を表現する。	・個人の尊重や民主主義，立憲主義の意義について，理解を深める。 ・日本国憲法の定める権利について，その背景や意義と合わせて，理解する。これらの権利について，判例や事例などを通じて，とらえる。	
単元の学習内容	・個人と法の関係性について学習する。			
	・日本国憲法の基本原理について学習する。			
	・日本国憲法の基本的人権のうち，平等権や自由権，社会権，新しい人権について学習する。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配などの，個人と社会の関係を成り立たせる基本原理について，しくみや意義を理解している。 ・日本国憲法の成り立ちや基本原理，日本国憲法の自由権，平等権，社会権，「新しい人権」について，基本的な知識を習得している。	・個人の尊重，民主主義，立憲主義といった基本原理について，どのようなものか，説明できる。 ・日本国憲法の定める権利について，基本的な知識を説明できる。 ・請願など，さまざまな政治参加の方法があることを学び，地域の課題などを見だし，解決・改善のための方策を考え，要望を表現できる。	・個人の尊重や民主主義，立憲主義の意義について，理解を深めようとしている。 ・日本国憲法の定める権利について，その背景や意義と合わせて，理解しようとしている。これらの権利について，判例や事例などを通じて，とらえようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	ワークシートの記述内容		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容			○
配当時間	6時間			
補足等				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	私たちの生活と政治		ワークノート	
内容のまとめ	(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		Chromebook	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構や、日本の国会・内閣・行政のしくみとはたらきについて、基本的な知識を習得する。 裁判所や裁判のしくみとはたらき、裁判以外の紛争解決のしくみについて、基本的な知識を習得する。 地方自治のしくみと役割、選挙のしくみ、民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治の基本的なしくみについて、説明する。 現在の日本の政治の問題を把握し、解決・改善するためにはどうすればよいか、改善策や要望を考えてみて、自分なりに、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治・司法のしくみと課題について理解し、よりよい社会の実現のため、自分が主体的に政治に参加する姿勢を持つ。 裁判員制度や紛争解決、選挙、地方自治、世論の形成などを、自分に関わることとして、とらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ力 グローバル力 思考力 判断力 表現力 寛容力 コミュニケーション力
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構について、世界の統治機構と対照しながら学習する。 国会、内閣、裁判所のしくみとはたらきについて学習する。 地方自治や選挙の仕組みと課題について学習する。 民主政治において政党や世論が果たす役割と課題について学習する。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構や、日本の国会・内閣・行政のしくみとはたらきについて、基本的な知識を習得している。 裁判所や裁判のしくみとはたらき、裁判以外の紛争解決のしくみについて、基本的な知識を習得している。 地方自治のしくみと役割、選挙のしくみ、民主政治において世論が果たす役割と課題について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治の基本的なしくみについて、説明できる。 現在の日本の政治の問題を把握し、解決・改善するためにはどうすればよいか、改善策や要望を考えてみて、自分なりに、表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治・司法のしくみと課題について理解し、よりよい社会の実現のため、自分が主体的に政治に参加する姿勢を持つようとしている。 裁判員制度や紛争解決、選挙、地方自治、世論の形成などを、自分に関わることとして、とらえようとしている。 	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	ワークシートの記述内容		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容			○
配当時間	12時間			
補足等				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	平和主義と日本		ワークノート	
内容のまとめ	(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		Chromebook	
				<ul style="list-style-type: none"> ・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の平和主義、自衛隊の成り立ちと役割、日本の安全保障政策について、基本的な知識を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のこれからの安全保障政策、日本の外交、憲法改正について、自分の意見を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義と安全保障について、これまでの経緯と現状について、知ったり理解したりする。 ・日本と世界の平和のために、これからの日本がどのような安全保障政策・外交を行っていくべきか、自分なりに考える。 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の安全保障の在り方について学習する。 ・日本が戦後行ってきた外交が果たした役割と課題について学習する。 ・「憲法改正」の在り方について考察、構想する。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の平和主義、自衛隊の成り立ちと役割、日本の安全保障政策について、基本的な知識を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のこれからの安全保障政策、日本の外交、憲法改正について、自分の意見を形成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義と安全保障について、これまでの経緯と現状について、知ったり理解しようとしていたりしている。 ・日本と世界の平和のために、これからの日本がどのような安全保障政策・外交を行っていくべきか、自分なりに考えてみようとしている。 	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	ワークシートの記述内容		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容			○
配当時間	4時間			
補足等				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
単位数	2		資料集		
単元名	私たちの生活と経済		ワークノート		
内容のまとめ	(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		Chromebook		
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムなど、経済の基礎的なしくみと概念について基本的な知識を習得する。 企業や金融のしくみとはたらきについて理解する。 GDPやGNI、財政や租税のしくみと機能、経済における政府の役割を、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみについて、説明する。 市場の失敗や景気変動など資本主義の課題に対し、政府がどう介入しているのか、またその意義や是非を説明する。 企業や金融の基本的なしくみやはたらきについて、説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみについて学び、市場経済を、民間と公共の観点からとらえる。 経済の構造が自分の生活とどのように関わるか、自分なりに考える。 		
単元の学習内容	・市場メカニズムなどの経済の基礎的な仕組みや概念について学習する。				
	・市場の失敗やその対応について学習する。				
	・企業の役割と働きについて学習する。				
	・GDPやGNI、財政と租税のしくみと機能について学習する。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムなど、経済の基礎的なしくみと概念について基本的な知識を習得している。 企業や金融のしくみとはたらきについて理解している。 GDPやGNI、財政や租税のしくみと機能、経済における政府の役割を、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみについて、説明できる。 市場の失敗や景気変動など資本主義の課題に対し、政府がどう介入しているのか、またその意義や是非を説明できる。 企業や金融の基本的なしくみやはたらきについて、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の基本的なしくみについて学び、市場経済を、民間と公共の観点からとらえようとしている。 経済の構造が自分の生活とどのように関わるか、自分なりに考えてみようとしている。 		
主な評価方法	定期考査	○	○		
	ワークシートの記述内容		○		○
	グループ/ペアワーク		○		○
	提出物の内容				○
配当時間	15時間				
補足等					

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	国際政治・経済と日本		ワークノート	
内容のまとめ	(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		Chromebook	
				・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会における国家主権の意味、国際法の意義とその発達、国際連合と国際機関の意義と役割について、基本的な知識を習得する。 第二次世界大戦後における核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 発展途上国の問題や新興国の台頭、地域的経済統合の意義と課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治・経済におけるさまざまな問題について、どのような論点があるかを把握し、説明する。 国際的な問題に対して、解決のために日本や個人でできることがあるか考えて、意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の政治・経済においてどんな問題があるかどんな対策が行われてきたかを把握し、平和で豊かな国際社会の形成のためにどんなことが必要か、自分にできることがあるか、学んだ知識を土台として、考える。 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会における国家主権の意味、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について学習する。 国際連合と国際機関の意義・役割について理解する。 第二次世界大戦後の核軍縮の取り組みや経済のグローバル化、経済格差について学習する。 SDGsの概念を理解するとともに、資料をもとに日本が国際社会で果たすべき役割について学習する。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会における国家主権の意味、国際法の意義とその発達、国際連合と国際機関の意義と役割について、基本的な知識を習得している。 第二次世界大戦後における核軍縮に向けた取り組みについて理解している。 発展途上国の問題や新興国の台頭、地域的経済統合の意義と課題について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治・経済におけるさまざまな問題について、どのような論点があるかを把握し、説明できる。 国際的な問題に対して、解決のために日本や個人でできることがあるか考えて、意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の政治・経済においてどんな問題があるかどんな対策が行われてきたかを把握し、平和で豊かな国際社会の形成のためにどんなことが必要か、自分にできることがあるか、学んだ知識を土台として、考えてみようとしている。 	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	ワークシートの記述内容		○	○
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容			○
配当時間	8時間			
補足等				

単元の計画

教科名	公民	対象学年・生徒	1学年 必修	
科目名	公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力
単位数	2		資料集	
単元名	持続可能な社会を創る		ワークノート	
内容のまとめ	(持続可能な社会づくりの主体となる私たち)		Chromebook 各自が集める資料	
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			<ul style="list-style-type: none"> 自ら思考し、判断して、課題を見いだしたり、必要な調査・資料収集をし、分析したり構想したりする。 自分の課題探究の成果を、文章やグラフ等の資料、プレゼンテーション素材にまとめ、他の人にも発表する。 必要に応じて、思考・判断・表現の作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会をつくることを目標として、自ら問題を見だし、課題を設定し、主体的に探究したり、課題解決の方法を自分なりに考えたりする。 社会は他者とともに生きる公共の場であることを意識し、多様な人びと・多様な価値観を視野に入れて、自分なりにものごとをとらえる。
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の解決すべき課題について、自らテーマを設定し探究活動を行う。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			<ul style="list-style-type: none"> 自ら思考し、判断して、課題を見いだしたり、必要な調査・資料収集をし、分析したり構想したりできる。 自分の課題探究の成果を、文章やグラフ等の資料、プレゼンテーション素材にまとめ、他の人にも発表することができる。 必要に応じて、思考・判断・表現の作業を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会をつくることを目標として、自ら問題を見だし、課題を設定し、主体的に探究したり、課題解決の方法を自分なりに考えたりしようとしている。 社会は他者とともに生きる公共の場であることを意識し、多様な人びと・多様な価値観を視野に入れて、自分なりにものごとをとらえることができる。
主な評価方法	ワークシートの記述内容			
	グループ/ペアワーク		○	○
	提出物の内容		○	○
	0			
配当時間	12時間			
補足等				